ボーリング柱状図

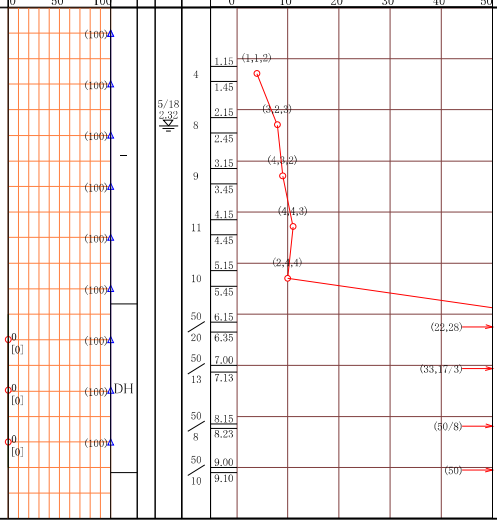
調　査　名	二級河川 黒瀬川水系 古河川支川砂防事業に伴う測量設計等業務委託
事業・工事名	二級河川 黒瀬川水系 古河川支川砂防事業に伴う測量設計等業務委託

ボーリングNo

シートNo

ボーリング名	Bor.1	調査位置	広島県東広島市八本松町　原	北　緯	34° 23’58.35202”
発注機関	広島県西部建設事務所　東広島支所	調査期間	令和 1年 5月 16日 ～ 1年 5月 18日	東　経	132° 39’50.44328”
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	H=254.80m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90° 32°	使用機種	
総掘進長	9.10m							試錐機	KR-100H
								エンジン	NFAD-8	ポンプ	EP-45

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
1				礫混じり砂	褐灰	E	VI	d			φ2～10mm程度の亜角礫を少量混入する。砂は粒子不均一な中砂～粗砂を主体とする。 GL-1.60m付近より、粘土及びシルト分をやや多く混入する。 含水量低位～中位。
2											
3	251.45	3.35									
4	250.95	3.85		砂質粘土	黄褐灰	E	VII	d			粘性土と砂質土との中間土で、やや粘性土が優勢である。 粒子不均一な細砂～粗砂を全体的にやや多く混入する。 含水量中位。粘性中位～強位。
5	249.00	5.80		礫混じり粘土質砂	褐灰	E	VI	d			φ2～10mm程度の亜角礫を少量混入する。砂は粒子不均一な中砂～粗砂を主体とする。 全体的に粘土分を多く混入する。 含水量低位。
6											
7				風化花崗岩	淡褐灰	E	VI～V	d	w3	h3	主として砂状コアをなす。部分的に角礫状コアとなる。 全体的にマサ化し、風化・変質が著しく指圧で容易に砕ける。 DH岩級相当と評価される。
8											
9	245.70	9.10									



掘進月日	掘進速度（cm／時）	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧（MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	送水量（l／分）	排水量（l／分）
5／18	400	86／ケーシング	SCT／MC	-	-	-	無水	-
	200		DCT／MC	0.5／1.0	60	0.05	清水／10	10